

AQPR2024（愛知ブランド企業PR研究制作） 「企業PRムービー：オガキエタイムズ」 研究対象企業：小林クリエイト株式会社

上岡研究室

D21090 福澤浩太 D21091 福田圭竜 D21122 吉田唯人

目次

P3	・ AQPRについて	P11～P12	・ 変更点 絵コンテ制作
P4	・ 愛知ブランド企業について	P13 ～15	・ 絵コンテ
P5	・ 選定企業：小林クリエイト株式会社について	P16	・ 香盤表
P6	・ 研究制作過程	P17～18	・ 撮影 編集
P7	・ 初回訪問	P19～27	・ 動画概要
P8	・ 企業からの要望	P28	・ ヒアリング（コメント）
P9～10	・ 企画案	P29～31	・ 研究を終えて

AQPRについて

このプロジェクトは、
「クリエイティブで地域の課題と向き合う」
を研究テーマに掲げている上岡研究室に、
愛知県産業振興課より依頼された「愛知ブランド」
企業の中から研究者自身が選定して、企業の様々な
広報課題を研究し制作するものであり、又成果物に
ついては実際の企業活動に提供している。

今年度、愛知県から依頼された対象企業候補は15社
であった。この中からすべての企業の事前アンケート
やHPなどを確認し、選定した。

(AQPRHPより一部抜粋：

https://aichi-brand.jp/AQPR_UeokaLab/)



愛知ブランド企業とは

愛知ブランド企業

ものづくり王国と言われる愛知県では、県内製造業の実力を広く国内外にアピールし、愛知のものづくりを世界的ブランドへと展開するため、県内の優れたものづくり企業を「愛知ブランド企業」として認定しております。

(愛知ブランドwebサイトより抜粋)



選定企業：小林クリエイト株式会社について

設立 昭和1937年4月 小林クリエイト株式会社を設立

小林クリエイト株式会社は国内初の計測用記録紙の製造をはじめ、ビジネスフォーム、ラベル、各種カードの製造・販売から、帳票へのデータプリント・封入封緘処理の受託、更には医療分野・BP0分野をはじめとするソリューションの創出まで幅広い分野でお客様のあらゆるニーズに込えている企業である。

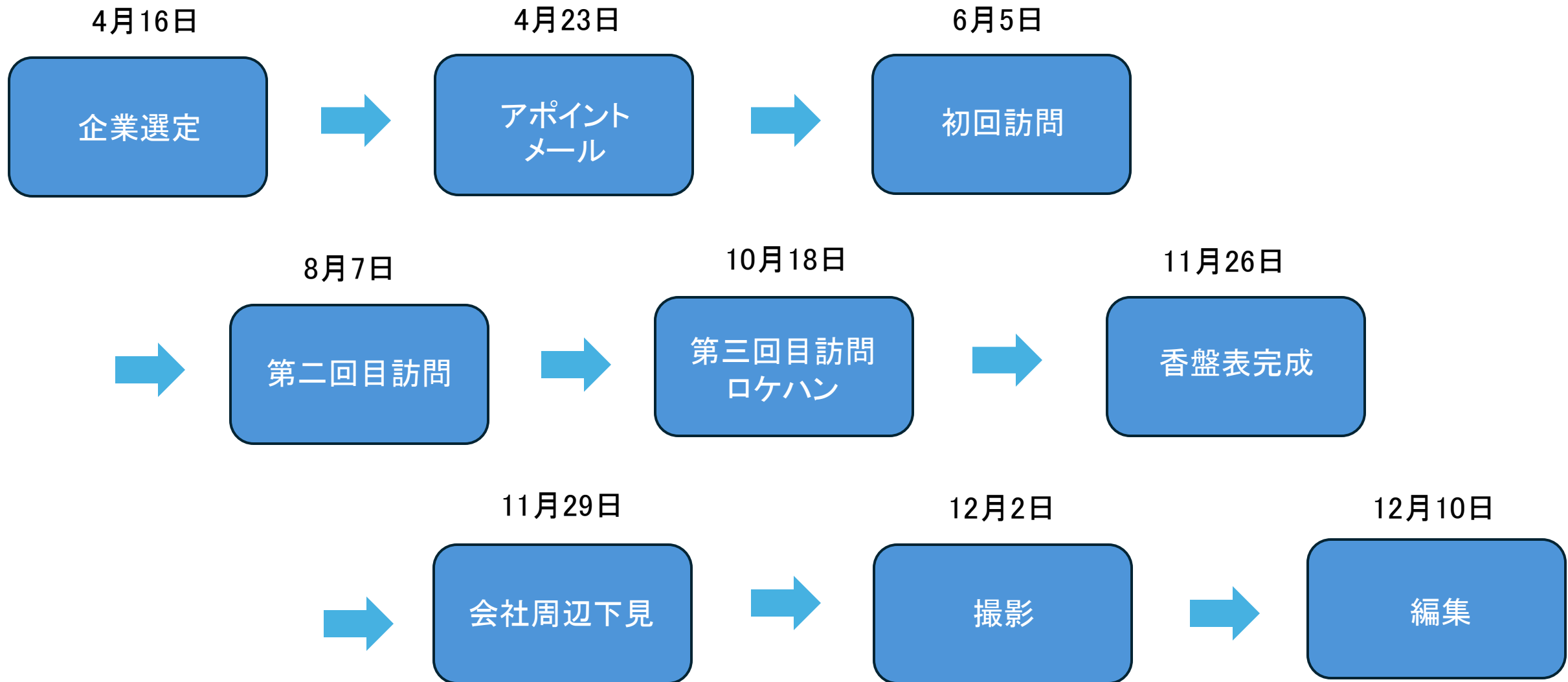
選定理由

お客様のあらゆるニーズに答えられる様々な事業を展開しているのにも関わらず印刷事業の印象が強く印刷事業以外の事業があまり知られておらず就活生の選考が少ない事実を知った。そこで同じ学生の日線で動画制作を行い、多くの就活生に伝え、この会社に魅力や興味を持ってもらい多くの就活生に選考に進んでもらえるようにしたいと考えたからである。

KOBAYASHI
小林クリエイト株式会社



研究制作過程



初回訪問

日時：6月5日（水）

場所：小林クリエイト株式会社

内容：①顔合わせ

②事業内容のご説明

③質問票へのご回答

④工場見学

株式会社小林クリエイト様

2024 年 6 月 5 日

質問票

大同大学 上岡研究室
D21090 経路浩太
D21091 経路圭亮
D21122 吉田唯人

◎採用活動について

- ・採用したものは、どのような場面で使用予定ですか
- ・前回の APQR ではどのような活動を行いましたか
- ・現在行っている PR 活動はどのようなものですか

・一番学生に伝えたいことはなんですか

・学生に求めること、人物像は何ですか

◎事業内容について

- ・一番力を入れている事業は何ですか
- ・なぜ多くの事業を行っているのですか

◎その他

・社内の雰囲気はどうですか

企業からの要望

- 学生目線という新たな視点から魅力を再発見。
- 説明会などで使用出来る動画の制作。
⇒リクルート向け動画
- 様々な事業展開を行なっているため、それが伝わる作品の制作。
- 新施設(工場)も動画に含んでほしい。
- ターゲット：何でもチャレンジ出来る方、挑戦を恐れない方。
(新卒、理系がメイン)

企画案

小林タリエイト様

リクルート向けPR動画のご提案

2024年4月10日
大阪府 上野市
池田 裕太
池田 光弘

【現在の問題点】

- ・既に知名度の高い企業名が響かないため知名度が低い。
- ・リクルート向け動画がない。
- ・事業が多く展開されているが事業会社として認知されていない。

【解決策】

- ・知名度アップと事業内容理解を兼ねた動画の作成

採用フロー

マトーポート

企業家+マトーポート

Marketingは3次元メディア
2次元のグラフィックと3次元の動画から
視覚的に理解しやすくなるため、採用の効率化を図る。

・2023年 先輩の作品

株式会社人海堂実業(株)の採用ページ
「人海堂実業(株)の採用ページ」の制作
https://www.haibondai.co.jp/recruit/

「人海堂実業(株)」

表紙

③短編劇場
2分50秒から小林タリエイト

短編劇場
2分50秒から小林タリエイト

④短編劇場
お笑いお笑い小林マン

短編劇場
お笑いお笑い小林マン

⑤対話と対話の対話
～対話と対話の対話～

対話と対話の対話
～対話と対話の対話～

福澤案

①未来の開拓者達

未来の開拓者達
未来の開拓者達

②未来の開拓者達

未来の開拓者達
未来の開拓者達

福田案

①未来の開拓者達

未来の開拓者達
未来の開拓者達

②未来の開拓者達

未来の開拓者達
未来の開拓者達

吉田案

企画案決定

—企画案⑦「謎多き小林クリエイト社の実態」

2分程度



* 伝えることが多く冒頭で関心を引くためにインパクトを！

—企画案⑦「謎多き小林クリエイト社の実態」

1



ネタ

- ・「印刷会社なのに！？従業員によって明かされる真実とは！」
- ・「新工場にサウナ！？その意図とは？社長に本音を聞く」
- ・「自由なチャレンジ精神！小林クリエイトの働きやすさの秘密とは？」

2



(車の中などに突撃)

実際のところどうなんですか！？

3



(平然と答える様子)

「知られていない商品や事業」

&

「ワークライフバランスなどホワイト要素」

4



驚き&納得する様子

出演

学生 1名
社員さん 複数名
社長さん (記事)

冒頭で興味、関心を引くために**ゴシップ記事**のようなインパクトのある編集を行なう吉田唯人の「謎多き小林クリエイトの実態」が変わった視点でありながら面白そうという理由により採用された。

変更点（ゴシップ記事について）

ゴシップ記事について調べた結果、上岡教授のご指導もあり事以下の事が分かった。

- ・ゴシップ記事というのは個人的な事情についての、興味本位のうわさ話であり、
あまり良いイメージではない（出典：デジタル大辞泉）
（わかりやすく言うと、誰かについて面白い面白くないかを基準にしたような噂話のこと）。
- ・ゴシップ記事の追っかけ取材は**リアリティーがない**。

以上の理由により「ゴシップ記事を取材」ではなく「投書が届き取材を行なう」という形に変更した。

引用

どう思う？SNSの拡散力…週刊誌ゴシップの真実とその背後にある倫理的問題

： https://mataiku.com/articles/entertainment-b01-20240421/#google_vignette

ゴシップとは？意味、類語、使い方・例文をわかりやすく解説

： [https://imijiten.net/%e3%82%b4%e3%82%b7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%a8%e3%](https://imijiten.net/%e3%82%b4%e3%82%b7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%a8%e3%81%af%ef%bc%9f%e6%84%8f%e5%91%b3%e3%80%81%e9%a1%9e%e8%aa%9e%e3%80%81%e4%bd%bf%e3%81%84%e6%96%b9%e3%83%bb%e4%be%8b%e6%96%87%e3%82%92%e3%82%8f%e3%81%8b/)

[81%af%ef%bc%9f%e6%84%8f%e5%91%b3%e3%80%81%e9%a1%9e%e8%aa%9e%e3%80%](https://imijiten.net/%e3%82%b4%e3%82%b7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%a8%e3%81%af%ef%bc%9f%e6%84%8f%e5%91%b3%e3%80%81%e9%a1%9e%e8%aa%9e%e3%80%81%e4%bd%bf%e3%81%84%e6%96%b9%e3%83%bb%e4%be%8b%e6%96%87%e3%82%92%e3%82%8f%e3%81%8b/)

[81%e4%bd%bf%e3%81%84%e6%96%b9%e3%83%bb%e4%be%8b%e6%96%87%e3%82%92%e3%82%8f%e3%81%8b/](https://imijiten.net/%e3%82%b4%e3%82%b7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%a8%e3%81%af%ef%bc%9f%e6%84%8f%e5%91%b3%e3%80%81%e9%a1%9e%e8%aa%9e%e3%80%81%e4%bd%bf%e3%81%84%e6%96%b9%e3%83%bb%e4%be%8b%e6%96%87%e3%82%92%e3%82%8f%e3%81%8b/)

動画ネタ案と変更点を基に内容を考案

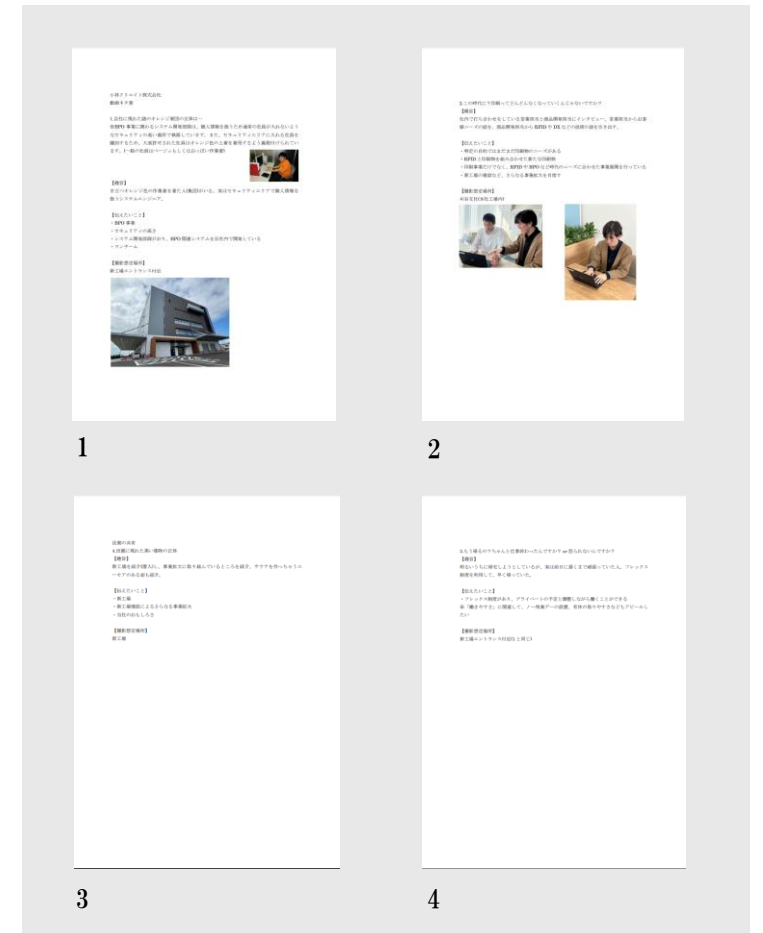
小林クリエイト社から社員にしか分からない視点からの問題をまとめて送ってほしいとお願いしたところ、その問題とそれに関するネタの案を送っていただいた。その小林クリエイト社から提供されたネタ案をもとに絵コンテを制作した。

動画の設定は、小林クリエイト本社の所在地にちなむ「オガキエタイムズ」という架空の出版社が登場する。この出版社に所属する**横柄な態度ながらも仕事には忠実な記者A**と、**気弱な性格でいつも上司に振り回されがちな記者B**の二人が主人公だ。二人は、「オガキエタイムズ」に寄せられる様々な投書をもとに、その真相を突き止めるべく取材に奔走するというものだ。

また絵コンテを制作していた際、上岡教授から以下のアドバイスをいただいた。

- ・ゴシップはイメージが悪くなるため投書に変更した方がよい。
- ・リアリティーを求めるため出演するキャラクターの設定を細かく考えること。
- ・言葉遣いに気をつける。※例　～を聞くではなく、～は出来ますか？
- ・ストーリーがつながるように撮影場所を考慮し、撮影を行なう。

これらに注意し絵コンテ案を10月28日に提案した。



絵コンテ #1 この時代に？印刷ってどんどん無くなっていくんじゃないんですか？編

1 案目

この時代に？印刷ってどんどん無くなっていくんじゃないんですか？編

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C1-1	大同大学 ゼミ室			記者が新聞社員、新聞生から聞いた話を語っている	NA:「印刷業界の需要が減っているのにどうやって事業を拡大しているのか？調べてほしい！」 記者:「といった投資が盛く」	
C1-2				画面ごと印刷		
C1-3	大同大学 ゼミ室			話し合いや会議をしているシーンが流れる テロップ付き	記者B:「我々は数年前の会議の末、小林クリエイティブの取締役がアプを取りもできたので直接取材にいくのであった。」	
C1-4			オガキエタイムズ		NA:「オガキエタイムズ この時代に？印刷ってどんどん無くなっていくんじゃないんですか？」	
C2-1	小林クリエイティブ 編集部			会社についての簡単な様子	記者A:「これが小林クリエイティブ社か。」 記者B:「意外と大きいですね。」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C2-2	小林クリエイティブ 入り口			記者ABが歩いている	記者B:「入口どこですかねー」 記者A:「あそこに入らないうちに聞いてみるが」	
C2-3	小林クリエイティブ 入り口			記者が入り口で立っている人(取締役)に話しかける。	記者A:「すみません！」	
C2-4	小林クリエイティブ 入り口				記者A:「この社長さんにアポイントメントを取っているのですね？等々でもらえませんか？」	
C2-5	小林クリエイティブ 入り口			振り返って自己紹介をする 取締役	取締役:「あ。」 取締役:「お待たせいたしました私代表取締役の岡本と申します！」	
C3-1	小林クリエイティブ 入り口			集く記者	記者B:「ええ！取締役さんでしたか、本日はお忙しいところお時間をとっていただきありがとうございます。」 記者A:「まさか代表取締役だったとは(驚愕)」 取締役:「はいはい、ここではお呼びでしょう、やんどうぞ」 記者AB:「はい！ありがとうございます！」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C3-7	小林クリエイティブ 会議室			記者が納得している	記者A:「なるほど！そんなこともしてるとですね。」	
	小林クリエイティブ 会議室			取締役がご機嫌な様子で歩き始める。	取締役:「せっかくですから、今お話しした内容を実際に見て行きましょうか！」	
C4-1	小林クリエイティブ 会議室			話を進めて社長の話についているながら小声で話す二人	記者B:「え、あ、ぜひお願いします！」 記者A:「これは良くなりそうですね。」 (小声)	
C5-1				グラフィックパート(振り返り)	記者B:「調査の結果、〇〇〜これからも我々は〇〇〜」 (振り返り)	
	小林クリエイティブ 周辺			夜遅くに帰れた様子で歩く二人	記者A:「いーやー疲れたな。」 記者B:「そうですね。」 記者A:「よし！帰って記事作るか！」 記者B:「明日はししし〜」 「またまた投資待ってます」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C3-2	小林クリエイティブ 会議室			応接室に案内される	取締役:「どうぞお座りください」 記者A:「失礼します」	
C3-3	小林クリエイティブ 会議室			質問を始める記者	記者A:「改めて本日はお時間いただきありがとうございます。早速ですが、質問させて頂きます。小林クリエイティブさんは「印刷」の会社と聞いているのですが...。正直、いま印刷ってしないんですか？なんでも大丈夫に連絡が来ますし...」	
C3-4	小林クリエイティブ 会議室			質問に答える取締役	取締役:「そうですね。正直に言えば印刷物の減っているというのは事実です。とはいえ、特許の用途に限って言えば、まだまだ印刷物の活用しているシーンはあります。例えば印刷物の活用ですが、デジタル印刷機も増えていますが、電版が使えなかったり、新しい機能だったりといった利便性は、まだ印刷機が使われていたりしています。電版などの分野では需要をものにすることが必要があるので、新しい製品の考案も必要になってきています。」	
C3-5	小林クリエイティブ 会議室			質問をする記者	記者A:「え、新しい印刷物があるんですか？」	
C3-6	小林クリエイティブ 会議室			質問に答える取締役	取締役:「当社はありますがユニクロの自動裁断機のような設計ができるのは、Cタイプ付の商品もグロおかげで、あれも印刷物の一種ですね。当社は、もちろん既にデジタル印刷機に切り替わった事例証を作っています。みなさんの事にも乗ってたりするんじゃないですか？当社の印刷機やCタイプ付の商品も合わせた印刷物の開発に今でも取り組んでいますよ。」	

絵コンテ #2 もう帰るの？ちゃんと仕事は終わったんですか？編

2 案目

もう帰るの？ちゃんと仕事終わったんですか？編

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C1-1	大岡大学 ゼミ室			記者が近藤社長、健太生から聞いた話を語っている	NA:「空が明るいうちに帰ると帰るというの、社員は早退しているのか？真実を知りたい」 記者B:「といった発言がいくつも届く」	
C1-2				画面ごと回転		
C1-3	大岡大学 ゼミ室			話し合いや会議をしているシーンが流れる テロップ付き	記者B:「近藤社長は重要な会議の末、現場に赴き調査をしたのである。」	
C1-4			オガキエタイムズ		NA:「オガキエタイムズ、もう帰るの？ちゃんと仕事終わったんですか？」	
C2-1	小神クリエイト社 駐車場			社内で振り返っている	記者A:「よし、ここで振り返りましょうか」 記者B:「そうするか〜」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C2-2	小神クリエイト社 駐車場			帰ろうとしている社員さん	社員A:「お！帰る！」 記者A:「お！でできたぞ！」	
C2-3	小神クリエイト社 駐車場			急いで走って行く	記者A:「よし、話聞かなくていい！」 記者B:「はいっ！」	
C2-4	小神クリエイト社 駐車場			記者が社員に問いかけるシーン	記者A:「少しお時間よろしいですか？」 社員A:「え、ええー？」 記者A:「空が明るいうちに帰ると帰る社員を調べてほしいといった発言がいくつも届いているんですが、どうしてこんなに早く帰るのでしょうか？」	
C2-5	小神クリエイト社 駐車場			急に離れた記者に社員さんたちが驚き顔をする様子	社員A:「あ、う、え？」	
C2-6	小神クリエイト社 駐車場			社員さんに真顔で質問して返答する	記者A:「どうして二人はこんな時間に帰っているんですか？」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C2-7	小神クリエイト社 駐車場			社員さんが平然と記者に説明を始める	社員A:「あ！あー！たのフレックス制度を覚えて、早く帰って帰るだけです。近藤社長から大岡まで野郎の試合を見に行くんです。近藤社長から大岡まで野郎の試合を見に行くんです。近藤社長から大岡まで野郎の試合を見に行くんです。」	
C2-8	小神クリエイト社 駐車場			社員さんが話している	社員A:「すみません、新幹線の時間があるのでここで失礼します。」	
C2-9	小神クリエイト社 駐車場			記者が二人で話している	記者B:「フレックス制度...そんな制度があるんですか？」 記者A:「そんな制度知らなかったなあ、あれ？すみません」	
C2-10	小神クリエイト社 駐車場			質問をする記者A	社員B:「はい？」 記者A:「あなたもフレックス制度でこの時間に退社なんですか？」	
C2-11	小神クリエイト社 駐車場			ワークライフバランスの要素、働きやすさの良さ付け加入して話す社員	社員B:「僕は子供が産出したって保育園から通園が楽って一歩目は早めになんか知り上げて、子供を産まないとこうも苦しいです。子供が産まれたから、この制度のおかげで働きやすさの良さ付け加入して話す社員を両立できています。」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C2-12	小神クリエイト社 駐車場			急いで帰る社員B	社員B:「では子供が帰っているので失礼します！」	
C2-13				向かい合って納得する記者AB	記者B:「なるほど、これが小神クリエイトの社員さんが帰る理由か」	
C3-1				グラフィックパート(振り返り)	記者B:調査の結果、〇〇〜これからも現状は〇〇〜	
C4-1	小神クリエイト社 外回り道			記者Bの冗談	記者B:「はい、お疲れだったなあ、僕もこの間に帰るもんさあうかな〜」	
C4-2	小神クリエイト社 外回り道			記者Aが無視する	記者A:「〜」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C4-3	小神クリエイト社 外回り道			記者Aが振り返って一言話して歩き出す、記者Bはトボトボとあとをついていく	記者A:「後輩じゃんじゃん帰ってさ！」	

絵コンテ #3 黒い建物の正体とは？編

3 案目

田園に現れた黒い建物の正体とは ...
会社に現れた謎のオレンジ集団の正体とは ... 編

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C1-1	大田大学 ゼミ室			記者が新聞を読み、黒い建物の写真を見ている	NA:「黒い建物が怪しい」 記者B:「いったい何者か」	
C1-2						
C1-3	大田大学 ゼミ室			話し合いや会議をしている シーンが流れる	記者B:「黒い建物は、近頃小神クリエイト社で 内閣があるという噂を耳にして、 現地に赴き調査するのだった。」	
C1-4			オガキエタイムズ 		NA:「オガキエタイムズ 黒い建物の正体とは」	
C2-1	小神クリエイト社 新工場			黒い建物に向かい 歩いていく二人	記者A:「あれが...」 記者B:「おもったより 黒くないですね」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C3-1	小神クリエイト社 新工場			エンタランスで待っている2人の もとに、黒い建物の社員がやってくる	社員A:「すみません」 社員B:「お待たせしました、 それではついでにお願いします」 記者A:「お断りします。」	
C3-2	小神クリエイト社 新工場			説明スタート (1階から5階)	社員A:「こちらが...」	
C3-3	小神クリエイト社 新工場					
C3-4	小神クリエイト社 新工場 リラクゼーションルーム			リラクゼーションルームでの出来事	社員A:「こちらがリラクゼーションルームです。 休憩用の場所ではありますが、テラウェアやお酒類 との交流に使うこともできるよう、内装にはこだわ っています。社員のたまり場になったおかげで、社員の サウナもあるんですよ。」	
C3-5	小神クリエイト社 新工場 リラクゼーションルーム			博識な記者を見てドン 引きする記者A	社員A:「あ、あの方たちは...」 記者B:「あのオレンジは、きっと個人情報を取り扱う エンジニアであることの印ですね。主にシステム開発 やコンシューマーのオペレーションをこなす人から見てい て、その人たちが、顧客に提供されたセキュリ ティシステムに入るとは驚きです。」 記者A:「おまえ、急にどうした」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C3-6	小神クリエイト社 新工場 リラクゼーションルーム			急に前に出てくる記者A	記者A:「あ、出しっぱなしで、 すみません。やっぱオレンジ集団の説明は聞か れませんか？」 記者B:「あ、おう、そうですね、 お断りできますか？」	
C3-7	小神クリエイト社 新工場 リラクゼーションルーム			オレンジ集団を連れて社員から 説明を受ける記者A	オレンジ集団の社員:「はい、聞いてください。私たちは、 個人情報を取り扱うシステム開発のエンジニアです。 当社は 80% 事業として個人情報の管理サービスを提供 しています。当社ではもちろんお客様の個人情報を厳格に保 持し、決して第三者に提供することはありません。また、個人 情報の管理は、厳格なセキュリティポリシーに基づいて行 われます。また、個人情報は、厳格なセキュリティポリシー に基づいて管理されています。また、個人情報は、厳格な セキュリティポリシーに基づいて管理されています。また、 個人情報は、厳格なセキュリティポリシーに基づいて管理 されています。」	
C3-8	小神クリエイト社 新工場 リラクゼーションルーム			社員に冗談を言う記者A	記者A:「なるほど... じゃあその大事な部屋を見せてもらって〜」	
C3-9	小神クリエイト社 新工場 リラクゼーションルーム			きっぱりと断る社員A	社員A:「だめです！」	
C4-1				グラフィックパート (黒い建物の写真)	記者B:「調査の結果、〇〇〜 これからは〇〇〜」	

シーン	場所	時間	イメージ画像	状況	セリフ	注釈
C5-1	小神クリエイト社 新工場			夕日をバックに記者2人の会話	記者A:「じゃあ、いよいよ だめですね」 記者B:「そう、そうですね」 記者A:「よしじゃあ、いよいよ」	
C5-2	小神クリエイト社 新工場			記者Aが夕日に向かって走り 出す 記者Bが追って追いつける	記者B:「もしもして今日も〜」 記者A:「あつたまたまだろお」 注: カラスの鳴き声	

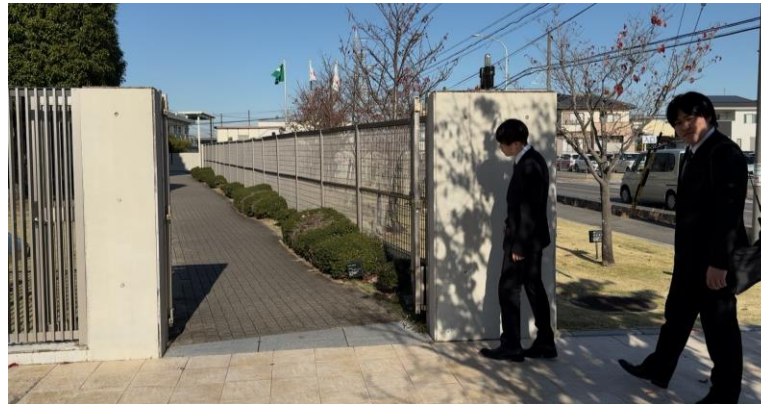
香盤表

1日で撮影を完了出来るようにスケジュールを考え、香盤表を制作した。

香盤表					制作																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									</
-----	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

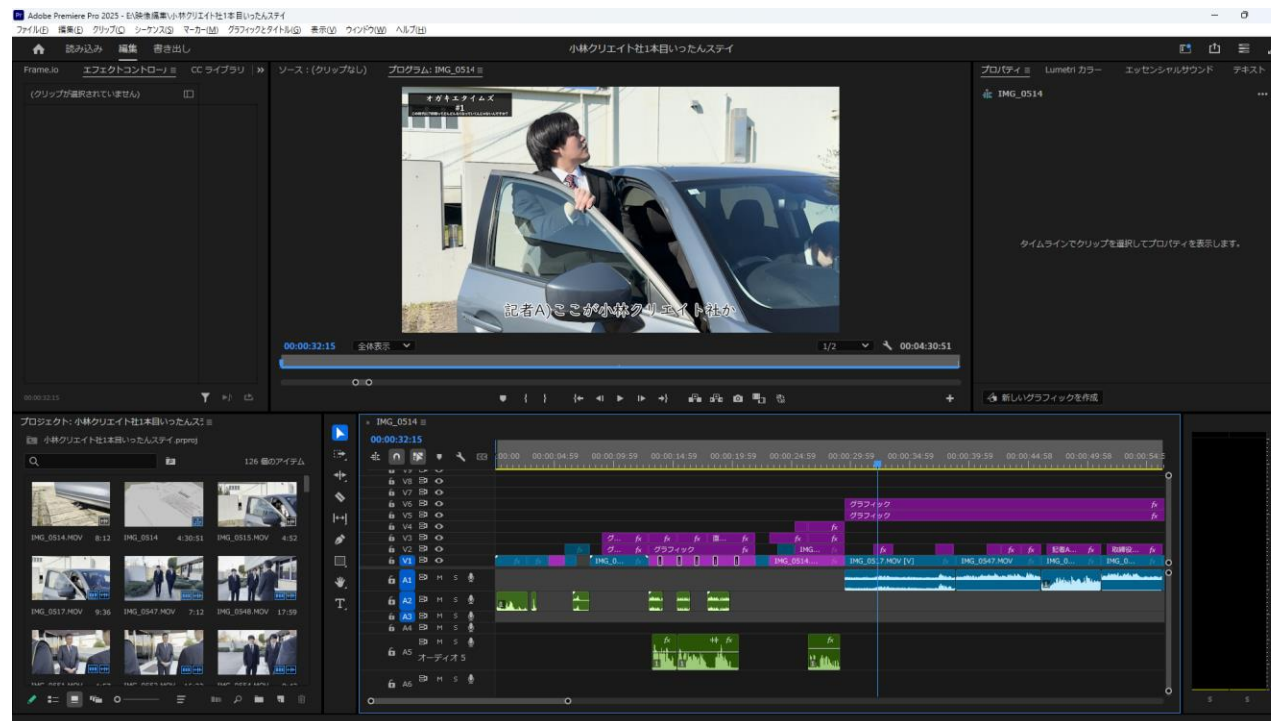
本撮影

日時：12月2日（月） 8時～18時
場所：小林クリエイト 本社



編集

12月10日から1月16日までAdobe Premiere proで編集を行った。
カット作業・字幕や効果音を入れる作業を行い、なるべく短い動画になるように編集した。



動画概要

#1 この時代に？印刷ってどんどんなくなっていくんじゃないんですか？編



タイトル



会議



記者紹介



会社到着



取締役との会話



質問開始

動画概要

#1 この時代に？印刷ってどんどんなくなっていくんじゃないんですか？編



返答



工場見学の誘い



調査結果



記者のやり取り



次回
#2
もう帰るの？ちゃんと仕事は終わったんですか？

次回予告

#1 この時代に？印刷ってどんどんなくなっていくんじゃないんですか？編

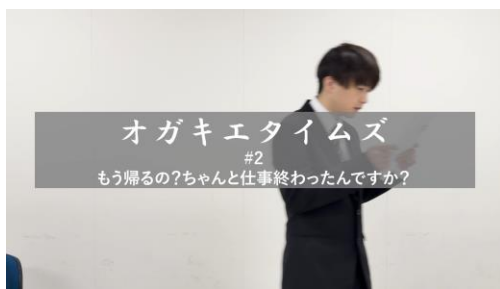
それではご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=nmnhYL2Lvik>

4分30秒

動画概要

#2 もう帰るの？ちゃんと仕事終わったんですか？編



タイトル



会議



記者紹介



張り込み開始



社員発見



取材開始



返答



取材終了

動画概要

#2 もう帰るの？ちゃんと仕事終わったんですか？編



社員発見



取材開始



返答



取材終了



調査結果



記者のやり取り

次回
#3
黒い建物の正体とは？

次回予告

#2 もう帰るの？ちゃんと仕事終わったんですか？編

時間の関係上割愛させていただきます。

<https://www.youtube.com/watch?v=wWZZRBi3rUo>

2分45秒

動画概要

#3 黒い建物の正体とは？



タイトル



会議



記者紹介



工場到着



内覧会開始



2階案内



3階案内



4階案内

動画概要

#3 黒い建物の正体とは？



5階案内



オレンジ軍団発見



記者Bの説明



オレンジ軍団に説明
を求める



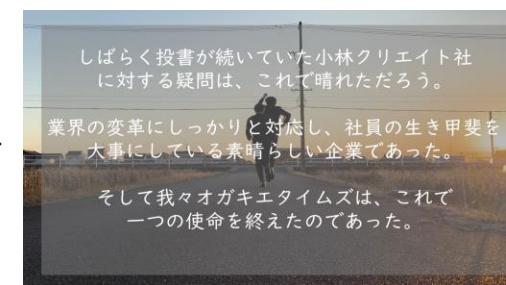
取材



調査結果



記者のやり取り



エンディング

#3 黒い建物の正体とは？編

それではご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=5ImYMPhh5gY>

企業からのヒアリング(コメント)

- ・全体的に当社が動画を通して伝えたいことをしっかりと伝えつつ、最後にクスッと笑えるようなシーンもあり、バランスが取れた動画になっていると思います。
 - ・コミカルな雰囲気もあり、親しみのある映像になっていると思います。
 - ・3本ともタイトルの表示がキレイにおさまっている印象がありますが、疑惑として強調するなら、暗い・ネガティブな雰囲気にしてもいいかと思いました。
- (私見ですが「オガキエタイムス」の文字より、疑惑の文が目立った方が宣材としては使いやすいかと)
- ・今回の動画はドラマ仕立てになっているため、冒頭で「他社とは違う、なんだこれ？」と思わせることができ、タイパ重視・多数の企業動画を見ている就活生にも最後まで見てもらえる可能性が高いのではないかと思います。
 - ・テロップは、実際に話した言葉が話し言葉で書き起こされているが、音声なしで視聴する場合も想定すると、文字としては書き言葉にしてもいいかと思いました。
- (例：広まってきています⇒広まっています)
- 制作上のポリシーとして音声と字幕を一致させるのであれば、このままでも問題ありません！

研究を終えて

福田圭竜

今回の研究制作を通して、実際に企業の方の課題解決に向けてコンテンツを作ることの難しさを実感した。先輩方からもスケジュールは余裕をもって組んだ方が良いというアドバイスを貰っており、余裕を持って行動していったつもりだったが初めてのことでばかりで予想以上に時間がかかってしまい、ギリギリになってしまった。進めていく内にやらなければいけないことや前もってやっていたらよかったことなどが増えていき、ギリギリになってしまいうことが多かったと思った。撮影本番前に機材の確認がしっかりできておらず機材トラブルなども重なって時間がかかってしまった。

編集では初めての長尺動画ということや、編集初心者ということもあり思い通りに作業が出来ない時もあった。そういった時にメンバーや上岡教授にアドバイスを貰い、協力しながら進めることが出来た。おかげで最後まで楽しんで作業することが出来た。企業の方にも伝えたいことをしっかりと伝えつつ、笑えるようなシーンもあるバランスが取れた動画になっているとの評価を頂けることができた。

悩んだり苦戦したりすることが多かったが、多くのことを学ぶことが出来た。来年からの社会人生活で、この研究制作で学んだことを活かせる社会人になっていきたい。

研究を終えて

福澤皓太

この研究で数々の事を学ぶことが出来ましたが、この研究で一番に学べたことは「人との協力の大切さ」です。私は出来もしないくせに常に「一人でやらなくてはならない」という気持ちを持っており他人を頼っては失敗したときに言い訳が出来ないという考えで日々生活をしてきました。しかしこの研究を通して一人ではどうにもならない事が多く、上岡教授に添削をお願いしたり、同じグループの人に私が出来ない部分をお願いしたりする事が多々ありました。自分の中にある考え方が曲げられるようで、最初は嫌悪感を覚えたのですが上岡教授の「これは授業の一環ではあるが学校外に依頼主がいて実際に使われるかもしれない物なのだから、中途半端な物を作ることは許されない。」というお言葉に感銘を受け、実際に企業様が私達の出ている動画を使って下さるかも知れないという期待と、AQPRという上岡ゼミの伝統に泥を塗るわけにはいかないという焦りが芽生え、協力を求めなければ使える物は作れないと考えるようになり次第に協力しなければならない大切さを理解する事が出来ました。これから社会に出て行った時には必ず誰かの助けを求める時や求められるときがあると思います。その助けを快く受け入れかつ受け取る事をこの研究してきた時間を思い出し、常に大切にしていきたいと思っています。

研究を終えて

吉田唯人

今回の制作を通じて、企業とのやり取りの難しさを実感しました。特に、企画段階でのメールやミーティングでは、伝え方が曖昧になり、必要な情報を得るのに時間がかかることがありました。そのため、企画案や絵コンテを提示する際は、具体例を交えて説明し、返信しやすい形に工夫しました。また、意見の優先順位をつけながら議論を進めることで、スムーズなやり取りができると学びました。

スケジュール管理に関しても、余裕を持った計画を立てたつもりでしたが、企業からの確認や修正依頼により、想定以上に時間がかかりました。特に、シナリオや絵コンテの修正を繰り返す中で、余裕を多めにする重要性を痛感しました。進捗を段階ごとに共有することで、スムーズな進行が可能になることも学びました。さらに、プレゼンテーションの際、自分では伝わっていると思っていたことが、相手にとっては不明瞭であることを何度も経験しました。企画の意図をより明確に伝えるために、絵コンテや参考資料を活用し、相手の疑問点を丁寧にヒアリングしながら改善を重ねることが重要だと気づきました。

この卒業制作を通じて、コミュニケーション力と計画力の重要性を実感しました。特に、相手の意図を正確に汲み取り、自分の考えを分かりやすく伝えることの難しさを学びました。また、現実的なスケジュール管理の必要性を痛感したことで、今後はより計画的かつ柔軟な対応を心がけたいと思います。企業との共同制作を経験したことで、社会に出た際に求められるスキルを身につけることができたと感じています。

ご静聴ありがとうございました。